

ふれあい北守谷

令和7年11月10日 発行

私たちの
まちづくりへの思い



若い人たちが住みたくなるまち
明るくてきれいなまち

安心・安全で人に優しく住みやすいまち

薬師台5丁目 交差点に信号機設置が決定!!

＜信号機の必要性＞ (2024/7/29 市長、取手警察署長宛ての請願書より抜粋)

北守谷地区の外周部に当たる薬師台5丁目交差点は、周辺地形と整合性を軸る為、見通しの悪い環境に置かれている。また、生活道路として、小学校児童・中学校、高校の生徒等の通行密度の高い交差点であり、交通災害の危険と隣り合っていると言える。信号機の設置により、その危険度を下げる事が期待されるので、早期に設置すべき場所と言える。

大井沢小学校前のバス通りを、市役所方に約500mにある薬師台5丁目交差点は、危険な交差点であることから、昨年度(R6年5月)より、北守谷地区まちづくり協議会が中心となり“信号機設置の請願”活動をおこなってきました。

児童生徒の歩道の使用状況、交通量などの緻密な現場検証と地形的特徴を調べた資料を作成し、大井沢地区まちづくり協議会、御所中・大井沢小、薬師台5丁目自治会と共に守谷市交通防災課への申請、7/31には取手警察署長への請願書提出、小川県議会議員等のご支援を頂き設置運動を行いました。その後、昨年9月5日に取手警察署、さらに9月20日には県の公安委員会の現地調査も行われ、更に数回に及ぶ打ち合わせを行いました。

その結果、最終的な書類審査、現地調査などの審査を経て、10月1日開催の茨城県公安委員会において、信号機の設置が認可されました。これにより信号機は年度内に設置されることとなりました。この2年間、関係各所の協力を得ながら、非常に速いスピードで実現できたことは当まちづくり協議会の大きな活動成果だと思います



夏まつり、北守谷まちづくり協議会 アンケート調査の結果

今年もまちづくり協議会として出店しました。目的は北守谷まち協に対する活動の浸透度合いや期待する活動内容のPRでパネル展示が主体でした。

回答は54名様より頂きました。男女比率は男42%、女58%、意外に40歳台の女性方の回答が27%もあり多かったです。

活動については約76%の方が良く理解若しくはやや理解されていました。興味のある活動は防犯・防災活動が多く71%、その他、地域福祉、交流活動、生活環境、敬老行事はほぼ25~30%でした。全く理解できない方は10%弱で、まち協の活動が徐々に浸透しつつあるようです。

また、今年度は当協議会から北連協に対し熱中症対策用のミスト発生器4台など約250千円分を支援しました。

「北守谷地区づくり協議会」では少しでも多くの方に事業に参加いただくため広く構成員を募集しております。協力いただける方は下記にご連絡下さい。問い合わせ先 守谷市 生活経済部 市民協働推進課 0297-45-1111(内線131)

配布地域：北守谷地区

発行部数：6000部

世帯数：7168世帯

にぎやか、楽しむ、第39回 北守谷地区夏まつり

8月16, 17日 北守谷地区連絡協議会主催の夏まつりが開催されました。初日の16日の朝8時から実行委員、協力委員が集まり、設営を開始。10時から11時かけて猛烈な雨に見舞われましたが、これが逆に功を奏し、真夏の気温を下げ、午後3時からの開店時には大勢の人出で賑わいました。これまでの自治会、サークル、有志による出店だけでしたが、今年から協賛者に枠を広げたことで、3店が参加され、お店には長い行列が出来ていました。また、小絹中学校から初めて吹奏楽部が参加されました。この夏まつりは北守谷地区の世代間交流、地域の結束を深めるの場として大きな役割を果しています。他の地区や近隣には例のない手作りの夏まつりは41年前の商店の納涼祭を引き継いだ事が起点となっていますが、これからも継続出来る様に積極的に協力していきましょう。守谷高校や御所ヶ丘中のボランティアの生徒も積極的に参加してくれ、更に翌日の清掃作業にも150名ほど参加してくれました。



生活環境部会

街路樹、公園樹木のアンケートについて

生活環境部会では、日頃から遊歩道や街路樹・公園緑地の安全管理に心をもって参りました。

8月29日、表題の意見交換会があり、様々な意見が出されました。昨今の様な異常気象に伴う倒木被害が多発している中、公園緑地担当より今後の管理についてのアンケートを頂きました。まちづくり協議会としての見解を、次のようにまとめて担当課に提言いたしました。

- 1) 街路樹の今後、巨大化した樹木の根茎が歩道の盛り上がり破損を助長し、根枯れ倒木の重大災害を招く事と、枯葉処理や高木の切戻し処理に膨大な時間と費用が必要になる為、全廃して、代わりにプラタナスや花水木などの低木の植栽の推進を行ってほしい。
- 2) 公園樹木の今後、

施工時からの密植が間伐されていない事から、巨大化した樹木の根茎が露出し、枯れ枝や樹木の老齢化が散見され倒木が懸念されている。高木の伐採や間引きと、公園外周の歩道のまわりの樹木を伐採し、歩行者の安全を確保し、4m程の安全地帯をつくり「市民花壇」にしてボランティア団体に提供、開放してはどうか。

以上

交流活動

ぶらぶら亭 くわがた亭



ぶらぶら亭・くわがた亭
ホームページ



コーヒー豆は品質を
一定に保つために、
10杯分の指定分量が
袋詰めされて納品され
ます。ミルされてすぐ
にドリップします。

ぜひ香りも
楽しんでください！

お手伝い体験も大歓迎！
1人でも、お友達とでも、1回だけ
でも大丈夫。お問い合わせは上記
QRコードのHPから！

スタッフ 大募集

ご興味のある方はお気軽にお声がけください。
ぶらぶら亭（大山公園）：11/16(日), 30(日)、12/7(日)
くわがた亭（くわがた公園）：11/23(日)

地域福祉：頑張ってます!! もりやっこ食堂 毎月第4土曜日 開催 @文化会館



もりやっこ食堂では多くのボランティアのメンバーと多くの皆様の支援を頂いて運営しています。カレー100食、早朝パック 30セット（お米1kgのお米、バナナ、お菓子、鉛筆、野菜など）ですが、特に昨年来の米価高騰で調達費用がかさみ大変困っておりました。主催の大塚さんが農林水産省の政府備蓄米の申請を行い、月40kgのお米を調達することができました。この政府の事業は食育によりごはん食の拡大を図るものですが、3ヶ月毎に申請が必要です。この補助が継続されれば大いに助かります。



10月18日は特別にハロウィンイベントでお菓子つくりやスペシャルイベントでは紙トンボづくりを行いました。



2025/10/18 の様子



10月18日は特別にハロウィンイベントでお菓子つくりやスペシャルイベントでは紙トンボづくりを行いました。

防災・防犯・交通安全部会

ステップアップする学校区防災訓練

今年度の学校区防災訓練はDAY4プログラムに基づく避難訓練です。全自治会に協力をお願いし、準備委員のメンバー募集を行い、7月13日と10月5日、2回に亘り、説明会を行いました。これまでの訓練とは一段とレベルアップした避難所運営訓練となりますので、丁寧な説明と住民の理解と協力が必要になっています。

・11月29日(土)：松前台小学校区、北守谷もりりん公民館区、大井沢小学校区（学びの里）→3カ所同時開催

・12月6日(土)：御所ヶ丘小学校区、中学校区 → 2カ所同時開催

さらに、これに先立ち、準備メンバーの役割などを確認するために、11月9日(日)には松前台小において事前訓練も計画しています。

<DAY4プログラムとは>

災害時に避難所が開設されるのは発生から4日目です。

4日目(DAY4)以降の避難所の運営は行政では対応できないため、自治会主導で行う事になっています。

その運営プログラムを関係する自治会で周知し役割分担などを決めておく必要があります。その為にいくつかの自治会が集まって行う地区単位の訓練となります。



10/5 地区防災訓練の説明会

7/31 視察研修会（茨城県警察本部、茨城県庁）

28名の参加で研修会を実施しました。今年度、茨城県警察本部では県全域の交通管制センターの見学と防犯対策の講話を聴きました。

県庁では風水害に備える防災講座、地震災害を学ぶ防災講座を受講しました。守谷市のハザードマップを使って水害の説明や茨城県南部にスポットを当てた講義で大変勉強になりました。



7/31 茨城県庁にて

立沢里山の会

稻刈り & 芋ほり



里山のお芋がとれました



芋ご飯と豚汁の昼食

稻刈りは9月22日(月曜日)に立沢里山で、大井沢小学校と松前台小学校の5年生児童130名が参加して、恒例の「田んぼの学校」が開催されました。田んぼに入ったグループが、稻を鎌で刈り取ります。刃物を使うので子ども達にとって危険な作業ですが、事故もなくやりとげました。

芋ほりは10月18日(土曜日)に、立沢里山でサツマイモの収穫祭が催されました。北守谷地区の二つの子ども会（スマイルシーズ、ひまわり子ども会）と、子ども食堂「もりんくる」と、立沢里山の会との協同開催です。子ども会から子ども達約30名、保護者約20名、「もりんくる」から数名、立沢里山の会から約10名が、参加しました。

まずは、里山の近くにあるサツマイモ畑での芋掘りです。今年は出来が良く、大きなサイズのサツマイモが、たくさん収穫できました。

里山に戻って、稻ワラで縄を編む方法を、子ども達と保護者に体験してもらいました。その後に、「もりんくる」さんが準備してくれた芋ご飯と豚汁で昼食です。このときのサツマイモは1週間前に収穫されたものです。秋空のもと、みんなで食べる食事はおいしかったですね。天候も、最高の日和でした。野で遊ぶ、野に学ぶ、野を食す。里山は、自然の宝箱です。ぜひ立沢里山に遊びに来て下さい。

敬老事業:80歳以上 1316名に記念品を贈呈しました！！

前号でお知らせしましたが、当初10月25日に予定していた敬老行事が御所ヶ丘小学校の運動会と重なったため、実行委員会で改めて協議し、最終的に記念品配布方式とする事に決定しました。

記念品の選定にあたっては、6月1日の実行委員で各自記念品候補を持ち寄り、五画箸と綿紗ハンドタオルに決定しました。箸は見積もりから発注の段階で値上がりをしていて、発注先を老舗店に変更し何とかしのぐことができました。タオルも発注後には値上がりするという事で値上げラッシュを感じずにはいられませんでした。

北守谷地区では、対象者は80歳以上の方が1316名。10月2日に市役所において12名で5時間、地域の話題や昔話に花を咲かせながら口と手を動かし、和やかな雰囲気の中で1361個の袋詰め作業を行いました。

10月18日9時から北守谷公民館で民生委員さんにお祝い品を渡し、各地区で配布開始しました。訪問先では多くの方が玄関先まで出てくださり、顔を合わせて近況を伺うことができ、委員の皆さんにとっても嬉しい時間となりました。皆さんのお話の中には、庭の手入れや健康、免許証返納後の交通の不安など、様々な声が寄せられ、今後関係機関へつなげていく予定です。10月22日の交流サロンでは、箸の使いやすさなどの感想も聞くことができ、ご長寿のお祝いと、皆様の健やかな生活とご健康を願う気持ちが込められた活動となりました。

お祝い品は10月18日から31日にかけて民生委員・児童委員が無事配布する事ができました。



どっちが、気持ちがいいですか？

暑い中、街路樹に水遣りをしてくれている方々がいます。街路樹の整備を通して、住環境を守ることの大切さを考えてみたいと思います。

薬6自治会は2016年から、大井沢小PTA(福田校長の時代)は2020年度から、大井沢小のバス通りに、街路樹の補植を市役所に要望しています。補植が進んだ時期もありますが、毎年、年度末の3/31に数本だけ補植が行われるので、夏の暑い時期までに根付かず、枯れてしまう木が多いのが実情です。ですから、秋口に補植を行うのがいいと考えます。

街路樹の効果は経済的合理性の観点で、(1)[景観]街の資産価値の向上、(2)[CO2]地球温暖化対策、(3)[安全]ドライバーに住宅街であることを知らせてスピードを抑制する、(4)[防犯]泥棒にきちんと見て隙のない街だと思わせる、などが挙げられますが、住民として、街路樹がある街と、枯れた街路樹が放置されている街を比べて、みなさん、シンプルにどっちが気持ちがいいですか？私は、緑が豊かな方が気持ちがいいし、最近の夏の猛暑は命の危険を感じるので、木陰に入るとホッとしますが、枯れたまま放置された状態の方が気持ち悪いです。

ここから、街路樹を守っている方々のお話をします。大井沢小の先生は、数年前から夏休みの猛暑の時期に、街路樹に水遣りをしてくれています。それと、8/26に、薬2の男性の方が、朝早く2Lの重いペットボトルを数本抱えて、街路樹に水遣りをしてくれていて、『リモートワークだから、水遣りをしています』とのことでした。改めて、広報誌を通してお礼を申し上げます。本当に、暑い中、いつもありがとうございます。

みなさんも感じていると思いますが、北守谷の特徴は街路樹が多いことです。私たちが住み始める前に、おそらく都市公団が街路樹を植えたのでしょうか、それを棚ボタでラッキーと思っているだけでは、住環境を維持できないので、私たち住民は他人任せにしないで、いい環境を維持し続けようと思う気持ちや意識が大切です。



大井沢 小学校

10/12(日) 第31回 運動会

前日の雨による順延で開催が心配されましたが、時より強めの日差しが見られる程度の秋晴れとなりました。気候が良かったので、子供たちは最高のパフォーマンスを発揮し、大人たちも気持ち良く観戦できました。特に、借り物競争は参加者の表情の変化があつて面白く、指定された品物が見つかるまではちょっと不安な感じですが、見つかったらパートナーと一緒にギアが入って必死になります。ある保護者のお母さんも、子供たちから指名されるようにカッコいい野球帽を被って来たそうです。運動会は、子供と大人が両方楽しめる地域のイベントになっています。



御所ヶ丘 小学校

10/25(土) 第44回 運動会

10/25(土)早朝より小雨交じりの天候で心配されましたが、薄陽の中、無事開催されました。スローガンは「希望の未来 絆のバトンで 勝利へと」、赤白に分かれての元気ある応援合戦から始まり、14種目の競技が行われました。前半は個人競技、後半は団体競技、最後は紅白対抗リレーの順でした。個人競技の内、徒競走は1・3・5年生、学年によるスピード差が歴然ですが、男女の体力差が無いのには驚きました。障害物競走は2・4・6年生、マントを着用しての長・短距離での競走、6年生の親子による二人三脚・目隠し・走るなどを組み合わせた競走、などに感動しました。また、団体競技は1・2年生、1・6年生、3・4年生、2・5年生、3・4年生、5・6年生、いずれの競技も上級生が下級生をサポートする姿勢、加えて保護者も楽しめる創意工夫種目にも感激しました。最後の対抗リレー、風も吹く寒い天候でしたが、親子や家族の絆を楽しく確かめる運動会、全児童の頑張りとともに先生方の日頃の努力の賜物と感謝し、白組の勝利で幕を閉じました。



松前台 小学校

10/25(土) 第37回 運動会

少雨のため、8時半よりの開会式と応援合戦は体育館で行いました。「心を一つ、笑顔あふれる運動会」のスローガンの下、赤、白応援合戦は保護者の見守る体育館に大きく響き渡り、児童たちの意気込みに圧倒されました。

お天気は予報通り9時には雨が止み、全員グランドに移動、プログラムを少し変更して、徒競走を1年から6年生まで行い、その後、表現種目、団体種目を行いました。徒競走では、数年前から一般的になっていますが、男女の児童が一緒に走る学年もあり、女子の活躍には目を見張るものがありました。運営は児童たちが手際よく行き、アナウンサーの実況中継も臨場感あふれるもので大変上手でした。日頃の練習が十分に発揮され、今年は紅組の勝利で終了いたしました。日頃の先生方のご指導に深く感謝いたします。



コンクールで楽器を運ぶという仕事

今年の夏、御所中吹奏楽部は、県南地区大会と県大会に挑戦しました。ステージで演奏するためには、まず、大きくて重い楽器をステージにセッティングしないといけません。しかも、約2分間で、という制限時間があります。

楽器を運ぶ仕事は、(1)最終リハの後、学校で楽器をトラックに積んで、(2)コンクール会場でトラックから楽器を降ろして、(3)演奏順の3番から前からステージの袖でじっと待機して、(4)自分たちの順番が来たら、制限時間内でセッティングして、(5)演奏が終わったら速やかにステージから運び出して、(6)楽器をトラックに積み込まないといけません。

本番で最高のパフォーマンスを発揮するには、当たり前ですが、楽器が揃っている必要があります。そして、制限時間内に楽器を正しくセッティングする作業は、多少の緊張感を伴います。楽器を運ぶ仕事を通じて、失敗してはいけない緊張感を感じることも経験です。子供たちがそういう経験ができるように、地域の大元としてサポートしていきたいと思います。



今年の桔梗祭のスローガンは、『輝け 桔梗の花 韶き渡れ 僕らの青春ハーモニー』で「未来へ突き進む」事をイメージする「生徒全員による鯉の滝登りの全校造形」の前で、午前中はクラスごとの合唱コンクール、午後は吹奏楽部、科学部、文芸部、美術部の発表と歌、演奏、ダンスなど10の個人発表、発表合唱コンクールの結果発表が行われました。鑑賞する保護者は学年ごとに入れ替わりましたが満席となっていました。

合唱は1年生のクラスから始まり、2年生、3年生と学年が上がるごとに、(1)声がきれいになり、(2)ハーモニーがきれいになり、(3)声量が大きくなって、(4)声の強弱を表現できるようになり、その違いははっきりと感じられました。合唱曲はつぎの通りでした。

★ 1学年は、COSMOS(2組)、変わらないもの(3組)、あさがお(1組)、地球星歌(4組)、My Own Road(5組)、

★ 2学生は、キミのもとへ(3組)、瑠璃色の地球(5組)、虹色の未来(4組)、HEIWAの鐘(3組)、心の鐘(2組)、

★ 3学年は、虹(6組)、時を越えて(1組)、YELL(3組)、信じる(4組)、あなたへ(2組)、ふるさと(5組)

特別審査員の櫻井先生の講評では、「1年生は初めての三部合唱でしたが、熱心な練習の成果が表れ、堂々とした明るい歌声でした。」、「2年生は三部合唱のハーモニーのレベルアップが認められました。」、「3年生は歌詞を理解し、声を飛ばした発声や表現力も良く、レベルの高い充実した合唱で素晴らしいです。」とのことで、3年生の金賞は6組に輝きました。満席の会場の人たちに沢山の感銘を与えてくれた合唱コンクールでした。

今年も桔梗祭はライブ配信されました。プロのスタッフ5人によるカメラ6台体制で映像を切り替えるスイッチャーもいて、2Fの後方からリーダーがスイッチャーにカメラの切り替えを指示していました。

改めて、御所中の桔梗祭は、地域の人に子供たちのパワーと将来の希望を与える大事なイベントであることを実感した一日でした。



御所ヶ丘 中学校

2年生の職場体験学習 8月27, 28日

生徒169名が市内58箇所で職場体験学習を行いました。生徒たちは「お金を頂くことの大変さを肌で感じ取ったようです。これまで「働くことはお金を稼ぐためにやらなきゃいけない事」位に思っていたのですが、誰かのためになる意味のあることだと知り、一日二日でも大変なのに自分たちが生まれる前からずっと頑張ってくれている親に感謝の気持ち一杯になったようです。コロナの後再開した体験学習受け入れ先の紹介をまちづくり協議会でも協力しましたが、昨年からは学校と事業所とのパイプが再構築できました。事業所の方々のお話では、

- ① みんなとても良く働いてくれました。また来て欲しいという要望が沢山ありました(アネシスシャーロームデイサービス)
- ② 休息後、何かやることはありますか?と聞かれて大変意欲的でした。バイトで雇いたいくらいです(カスミ守谷テラス店)
- ③ 非常に素晴らしい対応が出来ました。美容師の人気が高いということで、系列の職場を来年から新規で職場体験が可能ですか(IDEA守谷店)
- ④ 物づくりの楽しさを広めるプロジェクトとして電気自動車の組み立て、試運転などを体験することができます。この体験で物づくりに興味を持っていただければ幸いです。(茨城トヨタ自動車株守谷店)

大変貴重な職場体験で、生徒たちにとっても大事な学習です。今後も是非継続できるよう地域の方々のご理解とご協力をお願いします。



9月に入り、2年生の英語の授業では、この職場体験の課題を取り上げ、この体験を通して、働く上で大切な事を英語で書いたり、別の授業ではタブレットで体験を写真や文章でまとめて、プレゼン資料を作成して、皆で話し合い、情報を共有しました。

ちょっと参考になる話

<ろくちゃんとロック>

最近、吸い殻やペットボトルのポイ捨てが多いと感じませんか? 葉6自治会では、環境美化をリードするキャラクターとして、ろくちゃんとロックを任命して、ゴミステーションやポイ捨てが多い場所に、啓発ポスターを掲載することにしました。

ゴミの問題は悩ましいです。問題は2つあって、ゴミステーションにおけるゴミの分別と、ポイ捨ての対策です。そこで自治会のメンバーで話し合って、以下の観点を訴求することにしました。

- 可愛いイラストで明るく
- 分かりやすい言葉で
- ゴミの分別と、アミの扱い方の両方

自治会の仕事は、メンバーがアイディアを出し合って、いいと思ったことをやってみるのが大事だと思います。ポスターの掲載後は、ポイ捨ては減ったように感じますが、みなさんの印象はいかがでしょうか?

私は、ろくちゃん。
葉6自治会は、
環境美化を
進めているよ!



僕は、ロック。
ゴミは正しく分けて、
アミはやさしく、
ピタッとな!



増田尚三さん

ふるさと紹介：静岡県 牧之原市相良町

静岡県中部地方の牧之原台地に位置する牧之原市相良町(旧榛原郡相良町)が私のふるさとです。隣接するのは御前崎灯台や浜岡原発で知られている御前崎市です。相良町は今NHK大河ドラマ「べらぼう」で話題となっている「田沼意次」の相良城があつたところです。ビタミンB1こと「オリザニン」を発見し、世界的に有名な農芸化学者、「鈴木梅太郎」博士や理研の核物理学者の石原正泰元東大院教授は相良町堀野新田の出身で、さらに現日銀の植田和男総裁のご実家も相良町です。

牧之原台地や山の斜面一帯にお茶畠が広がり、眼下に駿河湾が広がっています。毎朝学校に行くときには駿河湾の向こうに雄大な富士山が見えました。年中温暖な気候のせいか、比較的鷹揚な人物が多いかもしれません。高校3年までの18年間で雪を経験したのは1回のみ、それもパラパラの粉雪でした。

農産物では、かつては高級メロン、みかん、梨、干し芋等も盛んでしたが、今はお茶の栽培が主流です。最近はお茶農家も高齢で減少傾向にあります。また今年9月5日には日本で過去最大級の竜巻が発生し甚大な被害に遭いました。ふるさと納税で微力ながら応援します。(広報部会 増田尚三 1986年より松前台2丁目住)



＜編集後記＞ ◆1946年4月10日に39名の女性国會議員が誕生してから79年経ち、10月21日、高市早苗、日本で初の女性首相が誕生しました。誰から見ても新鮮なイメージで、これまでの首相に比べ物事をはっきり発言されているように感じます。外交、内政に大いに力を発揮して頂きたいですね。小学校や中学校のイベントでも女子が大変活躍していますが、男子ももっと頑張って欲しいのです。◆自治会への加入率が55%弱ですが、この北守谷の資産価値を上げ、若い人たちが住みたくなる様な町にする為に積極的に地域の活動に参加することが大切かと思います。皆さんで協力しましょう。

◆ 牛蒡掘る土に染みいる匂ひかな(増)

「ふれあい北守谷」第35号のご感想・ご意見等をお寄せください!

- ・QRコードをスマートフォンのカメラで読み込んでください
- ・お寄せ頂いた内容は「ふれあい北守谷」記事の参考以外に使用しません



北守谷 まちづくり 協議会

0297-21-6348

kitamoriya.m@i3.gmobb.jp

発行元：北守谷地区 まちづくり 協議会 広報部会

問合せ先：増田 (090 9962 1333)

広報部員：赤井・鈴木・藤田・小西・塙原・皆川・磯貝・若林・北村・上田・坪井・廣瀬・増田